

令和二年度 第二回「芭蕉白河の関俳句賞」 受賞作品

(一般の部) 佐 怒 賀 直 美 選

大賞	特選	秀逸	特別賞	入選
<p>幌掛けの楓蛇身を隠しをり 藤田 光徳 福島県矢吹町</p>	<p>草笛を吹き白河の関越えむ 池田 義弘 福島県福島市</p> <p>遠く来て的石山へ草矢射る 鈴木 傾樹 福島県田村市</p>	<p>嬰姫の社裏より時雨れけり 久保田 聡 神奈川県川崎市</p> <p>入道の踏ん張り跡や蛙鳴く 富山 栄子 福島県白河市</p> <p>幌掛の楓の花を葉とす 西牧 トキ子 福島県鏡石町</p>	<p>狛犬の欠けし片耳蟬しぐれ 田中 須美子 福島県福島市</p>	<p>螻蛄鳴くや埋蔵砂金の話など 斉藤 浩美 愛知県東海市</p> <p>夏草や石と身を変え権太鞍 木戸 和男 福島県矢吹町</p> <p>関跡の阿伝の狛や落し文 高須賀 経匡 愛媛県松山市</p> <p>かたかこの花や弁慶七戻り 宮川 礼子 茨城県筑西市</p> <p>ででむしや皆鶴姫の泪曳く 五ノ井 研朗 福島県会津坂下町</p> <p>義経の出立の径曼殊沙華 関戸 信治 東京都世田谷区</p> <p>受験子の矢立の松に触れに行く 関戸 信治 東京都世田谷区</p>

入選

関の森蛍へ向けるたなごころ	有馬 澄子	福島県須賀川市
うたたねの森の古石雨蛙	兼子 隆	福島県白河市
旗立の結び目固し桜東風	鹿目 京子	福島県会津若松市
桜しべ降る山頂の鞍の石	佐々木 克郎	宮城県大崎市
義家の道義経の道櫻	蓮實 淳夫	栃木県大田原市
便追の声追ひかける関の山	甲田 雅子	福島県南相馬市
白河の関へ逃げこむ稲光	平松 義之	東京都新宿区
弁慶が刻みし碑なり蟬叫ぶ	志賀 美恵	福島県いわき市
弁慶の碑や上弦の月明り	納谷 光男	福島県矢吹町
大夕立八幡大郎矢羽根葺く	納谷 光男	福島県矢吹町
秋立つや白旗なびく風の音	郡司 朝夫	福島県棚倉町
草深き吉次の墓に詣でけり	郡司 喜代子	福島県棚倉町
うたた寝の地ぞ邯鄲のしきりなり	遠藤 孝明	北海道日高町
花の雨庄司戻しに石一つ	瀬谷 節子	福島県塙町
うたた寝の森の大樹に小鳥来る	小川 コウ	福島県白河市

入選

義経の腰掛松に秋遍路	湯浅 康右	千葉県船橋市
曼殊沙華抜けて玉坂空仰ぐ	加藤 京子	福島県白河市
白河の関や夏蝶消えゆけり	宇野 芳子	東京都北区
旗立の奥は日照雨の草紅葉	酒井 秀子	福島県福島市
葭笛に揺れて日のさす山清水	石山 たま江	福島県須賀川市
結界の標石濡れて額の花	三上 昭俊	福島県郡山市
義経が旗立桜ふぶきけり	さいとう みのる	福島県いわき市
矢を放つ真似する人や夏の山	印田 弘司	福島県矢吹町
義家の歌碑の古道や梅二月	伊藤 一博	神奈川県横須賀市
一歩づつ都遠のく新松子	井手 美代子	埼玉県富士見市
松籟や入道渕の虫時雨	岩本 恵美子	福島県須賀川市
巨杉にもものふの威や木下闇	北島 清子	茨城県結城市
風起こる入道淵の黒揚羽	岡本 堯子	福島県矢吹町
日の差して登る蝗の片葉葭	根本 行夫	福島県本宮市
関跡の風の抜け道稲の花	渡辺 家造	福島県古殿町

入選			
岩に立つ義経の矢に泉湧く	伊藤 松男	福島県本宮市	
汗のシャツ木に投げかけて義家に	根岸 伸一	福島県西郷村	
下馬の碑を結界として蟬時雨	佐藤 和子	福島県白河市	
風立ちぬ庄司戻しの花の下	橋本 和昌	福島県白河市	
幌掛の楓の奥の関明神	小滝 威	栃木県大田原市	
大釜を据ゑたる跡や草萌ゆる	山崎 茂子	福島県南相馬市	
結界の石に白雨の気配あり	渡辺 俊子	福島県棚倉町	
弓掛けの松オリオンは呼吸する	秋本 哲	愛媛県松山市	
下馬の碑を包む卯の花腐しかな	吉田 健一	福島県いわき市	
うたたねの森を抜けゆく白雨かな	吉田 健一	福島県いわき市	
義経の旗の高さや夕桜	永井 正雄	福島県南相馬市	
屋敷跡に森迫り来る星月夜	吉田 孝子	埼玉県さいたま市	
八朔の風荒ぶれり片葉葎	吉田 孝子	埼玉県さいたま市	